







才賀藤吉、三浦逸平ら 31 名の発起人と知立町から大浜町までの町村代表者らが明治 45 年 5 月 30 日、刈谷町(現・刈谷市寺横町)の正覺寺で碧海軽便鉄道の創立総会を開催。社名を碧海軽便鉄道から三河鉄道(通称…三鉄)と改称して設立した。同寺は明治 37 年 2 月、放火のため全焼。明治 43 年 12 月再建された。創立総会のときは、まだ、桧の香りが漂う中で開催されたのでは…。

写真で見る 三河線誕生百年・目次

まえがき	- 4
三鉄時代の三河線	5
三河鉄道の夜明け 5	
西加茂郡誌 6	
名古屋鉄道社史 6	
神谷傳兵衛	7
神谷傳兵衛記念館 7	
東京・浅草「神谷バー」 11	
旧神谷傳兵衛稲毛別荘 12	
故郷・松木島の面影 13	
明治村「汐留バー」 15	
写真が語る名鉄 80 年	-15
絵はがきでたずねる	-17
幻の橋台・橋脚跡	-18
三鉄の電化	-20
三河鉄道の宝物	-21
古レール	21
鳥瞰図	-22
杉本健吉画伯のポスター	-23
三鉄マークの鬼瓦	
海水浴場	
煉瓦造りの開渠	-28
大正時代の写真が	
三鉄時代からの大金庫	
踏切安全地蔵	-28
名鉄三河線	-29
木造車 29	
半鋼製車 31	
在りし日の刈谷工場 32	
全鋼製車 32	
電気機関車 34	
知立連絡線	
知立駅移転	
冷暖房車登場	-38

自然災害の爪痕	39
台風 13 号 39	
伊勢湾(15号)台風 40	
S47・7 集中豪雨 42	
廃線区間の駅舎	44
駅舎の新築・改良	48
HL姿消す	56
高架区間	57
刈谷市付近 57	
上举母~豊田市~梅坪 58	
寺津~三河楠 60	
越戸付近 60	
三河八橋付近 61	
L E-car	_
三河線両末端区間廃止	
以ちこう博物館に	
設備変更	
西尾·蒲郡間廃止反対運動?	
20世紀末三河線で活躍した車両たち	
平成 21 年 12 月 31 日現在 三河線専用車両	
三河線で引退した車両	
矢作川鉄橋解体作業の土産	
現在の駅舎	
シャトーカミヤ・T V.CM に登場	
知立駅付近高架工事	
100年目の日(平成26年2月5日のスナップ写真)	
記念乗車券など	
廃線区間の春夏秋冬	
廃線区間の貨物ホーム	
国の登録有形文化財	100
番外	
豊田新線開業 101	
さようなら挙母線 102	
在りし日の挙母線 104	
昔・三河線 今・蒲郡線 116	
各駅の変遷・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
三河線の年表	
三河鉄道唱歌・現在の三河線専用車両	
付図 1 路線図(昭和 5年 3月 31 日現在)	
付図 2 路線図(昭和 11 年 11 月 30 日現在)	
踏切事故	145

まえがき

東海道本線の開業が西三河の町や村に起爆剤となって現れた。再び活気を取り戻そうとしていた刈谷町(西に大府駅・東に安城駅が誕生し町が寂れて)。新しい交通機関から孤立し(宿場に関係する人々の反対で東海道本線の誘致を断念した)何とかしようとしていた知立町。瓦や土管など地場産業の輸送手段に困窮していた碧海南部。こうした3地区が一体となって、知立町から大浜町まで鉄道を敷設することになった。それが三河線(三河鉄道)誕生の発端である。

ときに、大正3年(1914)2月5日、刈谷新(現・刈谷)~大浜港(現・碧南)間が開通し、当西三河地方の夜明けを開いた。(翌年の10月28日には刈谷新~知立間も開通し三河線の礎が誕生)

この三河線が後4年余で百歳を迎えようとしている。その節目に何か形のあるものを後世に 残そうといろいろ考えたが良い案が浮かばない。仕方なしに手っ取り早いものに飛びつくこと にした。それが、この写真集である。

手元にあるものを纏めるだけでは物足りない。名鉄資料館をはじめ三河会(現・三西会)や先輩達にも話を聞き、また、茨城県牛久市に三河鉄道3代目及び4代目社長の「神谷傳兵衛記念館」・東京浅草の「神谷バー」や千葉市にある「旧神谷傳兵衛稲毛別荘」にも、もう一度足を運び写真を1枚でも多く集めることにした。4年でどこまで集めることができるかにかかっている。

三河線は、北は西中金(昭和3年1月22日開業)から、南は蒲郡(昭和11年11月10日開業)まで開通し延べ81.7km。

蒲郡まで開通すると、上下列車が逆になった。鉄道の上り列車の起点は東京である。三河線が最初に開通したのは、刈谷新~大浜港間であったため、刈谷が東京方になり、大浜港から刈谷に向かう列車を上り列車といったが、蒲郡まで開通したことにより、蒲郡が東京方になり、上下列車を逆にしたのである。

昭和16年6月1日、名古屋鉄道と合併して、名古屋鉄道の三河線となる。昭和23年5月16日、路線名の変更があり、蒲郡〜三河吉田(昭和35年11月1日「吉良吉田」と駅名改称)間17.6kmが「蒲郡線」となり、「三河線」は三河吉田〜西中金間64.1kmとなった。

昭和34年4月1日、知立駅が北西に新設移転、従来の知立駅を分け、三河線側を「三河知立」、名古屋本線側を「東知立(昭和43年1月7日廃止)」に分割。また、移転したとき知立がスイッチバック線形となり、0.7kmプラスされ三河線は64.8kmとなった。平成16年4月1日、両末端区間の吉良吉田~碧南間16.4kmと猿投~西中金間8.6kmが廃止され、三河線は現在、碧南~猿投間39.8kmである。偶然か、不思議なことに「ポッポ」が走っていた碧南~猿投間と路線名を変更した蒲郡線が現在存続している。

今、西尾~蒲郡間が廃線の危機に直面している。平成 21 年 12 月 18 日の新聞によると「西尾・蒲郡間存続のため、ウォーキング大会や地元住民の存続を訴える運動」と題して報道。市民の思いを綴ったメッセージが蒲郡市民会館に展示してあると記してあり見に行く途中、高校生のグループ集団を発見。調べてみると、西尾高校の 1・2 年生全員が「こどもの国~西尾間」をグループに別れ、ウォーキングしながら手作りの幟旗を掲げて存続を訴えながら行進。吉良吉田駅前では、一色高校も垂れ幕を掲げて、趣旨に協賛し応援していた。時代だなぁー…と。

この運動を見て、三河線はもとより、蒲郡線や挙母線(昭和 48 年 3 月 4 日廃線)も触りだけでも写真集に入れることにした。

平成 21 年(2009)12 月吉日

三鉄時代の三河線

三河鉄道の夜明け

大正3年2月5日 刈谷新~大浜港間…開通

貧乏会社の三河鉄道は、記録によれば開業時、蒸気機関車のすべてを他社からの譲受や借り受けで まかなっていたという。



120,122…1873 年英ロバート・スティーブンソン製。1914 年 (大正 3 年)鉄道院から譲受。

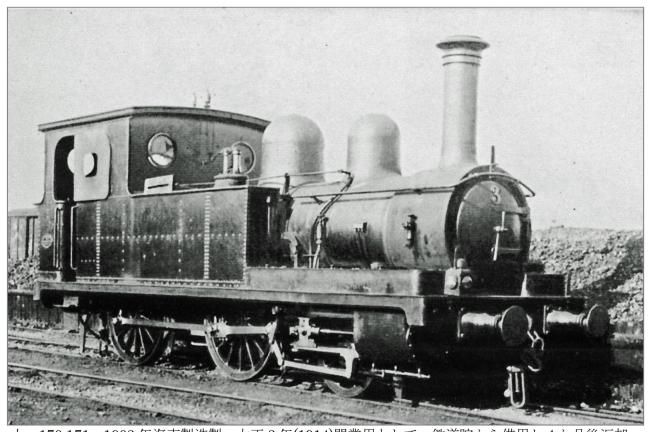


B形(1,4)1897 年米ピッツバーグ製 1917 年 高野・秩父鉄道から譲受。



1110 形(1104,1109)英バルカン・ファウンドリー製。1917 年鉄道院から譲受。

大正時代に活躍した 蒸気機関車たち



上…170,171…1903 年汽車製造製。大正 3 年(1914)開業用として、鉄道院から借用し4か月後返却。 汽車製造は 1896 年から 1972 年まで存在した鉄道車両メーカーで 1972 年川崎重工業と合併。 その他→A 形(1)を大正 7 (1918)年、秩父鉄道から譲受。

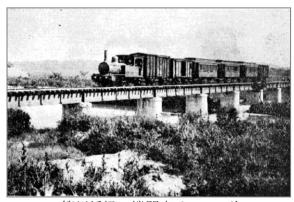
※ 鉄道院→大正9年以降→鉄道省→日本国有鉄道(現・JR…昭和62年4月1日)となる。

西加茂郡誌

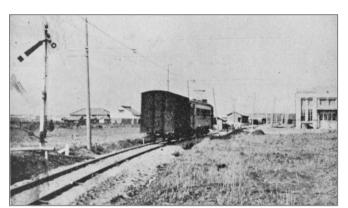
大正15年発行



挙母駅



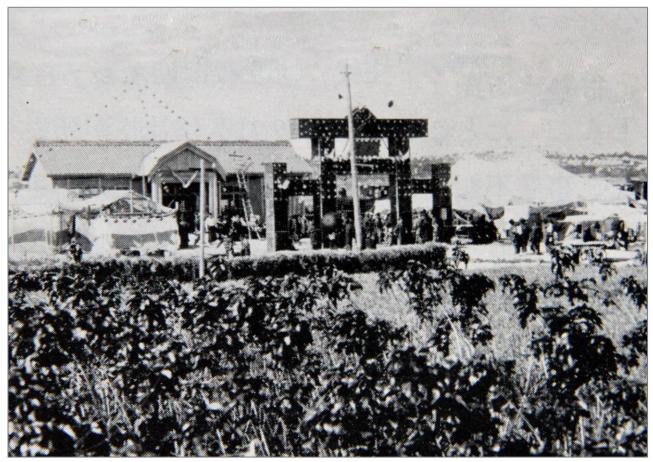
篭川橋梁 機関車は1100形



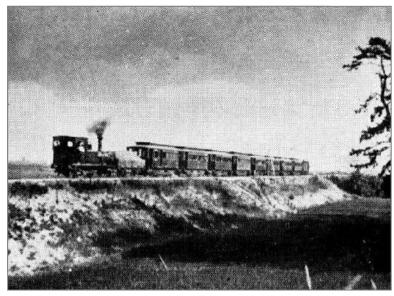
猿投駅

名古屋鉄道社史

昭和36年5月発行



開業当日(大正9年11月1日)の挙母駅…見事な祝賀アーチの手前には広い桑畑



開通間もない頃の刈谷町~小垣江間 機関車は120形



初代•神谷傳兵衛

神谷傳兵衛

西尾市一色町松木島出身の実業家で、東京・浅草で酒の一杯売り家「券がはや銘酒店」(後の洋酒バーの「神谷バー」)、茨城県牛久市のワイン醸造所のシャトーカミヤの創設者。三河鉄道の創立に取締役として参加、大正5年に経営危機に陥ったとき懇願され3代目の社長に就任。自ら莫大な資金を投入して経営再建を果たした。

4代目社長には婿養子の傳蔵(2代目傳兵衛…山形市旅籠町出身 旧姓・小林)が就任し、先代傳兵衛の没後 4年の大正 15年に路線が故郷の松木島に至ると先代の功績を称えて駅名を「神谷駅(昭和24年に松木島駅と改称)」と名付け、2年後の春、鉄筋コンクリートで貴賓室付駅舎を新築した。

神谷傳兵衛記念館

茨城県牛久市





シャトーカミヤの本館前から神谷傳兵衛記念館を望む。



左…シャトーカミヤの本館



神谷傳兵衛記念館
開館
年前10時より年後4時まで
人場無料です
このまま施ドセラーと
ワイナリーもご覧になれます
このまま施ドセラーと
ロイナリーもご覧になれます
このは記載8750。
2019012208273.
こ取かが、特別のは記載975.
これがが、特別のは記載975.
これがが、特別のは記載975.
これがが、特別のはこれのでしますます。

神谷傳兵衛記念館

平成 21 年 5 月 16 日





平成 22 年 2 月 18 日

記念館1階は創業当時から使用されたホワイトオークの大樽が並ぶ貯蔵庫



蜂印香蜜葡萄酒・蜂ブドー酒のポスター ※香蜜とは父の恩を忘れないため父・兵助の俳号を用いた。













園内の一角にある狛犬。裏側に「昭和二年六月建之 三河鉄道株式會社」&「岡崎市石工 成瀬大吉」と刻印してある。これは三河鉄道従業員が7回忌のとき傳兵衛の墓守として寄進したもの。



三鉄の救世主

三河線は開業直後から財政困難に 陥り苦慮。その上、久保社長の死 去でダブルパンチにあい、役員全 員が辞任。挫折寸前に落ち込み、

その存立さえ危ぶまれていた。株主の有志らは、神谷傳兵衛 氏に社長就任を再三にわたって懇願した。神谷氏は鉄道事業 の重要性を思い、意を決し引き受けた。



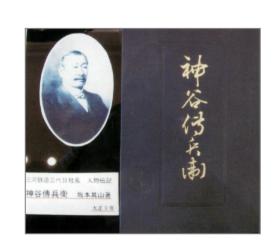
60歳



45歳

坂本箕山著の「神谷傳兵衛」の伝記本…右 大正 10 年 1 月 1 日発行の伝記本、神谷傳兵衛氏が現 存時、書かれた珍しい伝記物。「現存者の伝記を作る のは、故人の伝記を作るより難しい」と書かれている。







近藤利兵衛(34歳) と 神谷傳兵衛(37歳)

左側…「電気ブランデー」 右側…「蜂印香竄葡萄酒」

近藤 利兵衛

初代神谷傳兵衛が、新しい甘口ぶどう酒の販売を開始した、明治14年からの無二の親友であり、最大の事業協力者。 広告宣伝に独特のセンスを持ち、日本中に神谷ぶどう酒の名 を広めた(明治17年からは「蜂印香竄葡萄酒」を商標登録)。 日本橋に洋酒販売店を持ち、販売を一手に担当した。 神谷傳兵衛より3歳年下。



神谷傳蔵(2代目 神谷傳兵衛) 写真小…24歳頃の小林傳蔵

昭和10年(1935年)9月29日。 前列中央に、日本興業銀行総裁、結城豊太郎氏。 その右隣り、二代目神谷傳兵衛。 後列右端は、神谷傳彌(三代目神谷傳兵衛。 明治34年〈1901〉12月1日に生まれる)。





大浜港(碧南)駅に降り立った遠足の子供たち。 拡大すると、汽車に乗って遠足にやって来た 子供たちが列車からホームに降りている。



上&右…大正通り記念石碑 塩田跡地に道路新設…「大 正通」と名付けられる。



現・記念碑場所…裏側 に大正3年7月と刻印 平成24年12月





写真左…浅草花川戸の「蜂印香竄葡萄酒」醸造場、浅草雷門の 「神谷バー」の裏側にあった。 明治 45 年 4 月

東京・浅草「神谷バー」



平成 22 年 2 月 17 日





浅草三社祭の神輿…平成21年5月17日



平成 22 年 2 月 17 日

神谷バーの歴史

明治13年(1880)4月「みかはや銘酒店」開業

- ① 明治45年4月10日屋号を「神谷バー」に改称
- ② 大正10年「神谷ビル」落成
- ③ 昭和55年5月14日新館落成









東京スカイツリーと神谷バー…生憎の雨でした。 …平成24年6月9日(再挑戦した写真は裏表紙)

旧神谷傳兵衛稲毛別荘

(千葉市民ギャラリー・いなげ)

千葉市で最も古い鉄筋コンクリート建造物。外観は1階が洋風建築、2階が和風造りで床柱が、なんと「葡萄の巨木」さすがワイン王の異名を持つ神谷傳兵衛の別荘だった…と。

(注) DVD持参者は写真の下に写真が隠れています。





平成24年6月8日

平成 25 年 10 月 27 日



神谷傳兵衛 故郷・松木島の面影



松木島公民館



神谷傳兵衛の肖像画は、 大正初期に一色村第3 尋常小学校→大正15年 4月1日から一色町立東 部尋常小学校(現・西尾 市立一色東部小学校)に あったが、現在は松木島 公民館に保存されている。



松木島公民館所蔵 上の肖像画は、下の肖像画を額から出して モノクロで複写したもの。

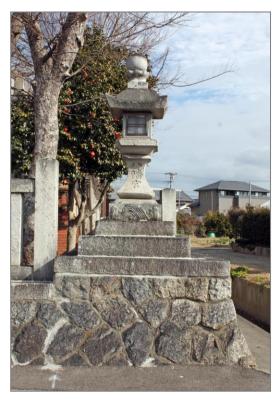
松木島・八幡社



平成 22 年 1 月 23 日







明治22年 傳兵衛(左)と兄・慶助(右)が寄贈した常夜灯



八幡社境内の南西角と南東角に常 夜灯がある。

南西角及び南東角の常夜灯に「東京 花川戸町 神谷傳兵衛」と「東京 下谷町一丁目 神谷慶助」と刻印、 されている。

神谷慶(桂)助とは、傳兵衛の兄のことである。

※ 神谷傳兵衛氏の別宅は、八幡社 の西一画にあったという。



上の写真は、平成22年1月23日のもの…刻印は読みにくい。 下の写真は、平成7年頃に撮ったもの…刻印は読み取れる。





明治村「汐留バー」



工部省品川硝子製造所内に平成15年3月1日 オープンした「汐留バー」





葡萄酒の製造は神谷傳兵衛が、販売は東京・日本橋の近藤利兵衛に任せた。その商標看板が、明治村 の「汐留バー」にある。また、傳兵衛ゆかりの飲物(蜂印香竄葡萄酒・デンキブラン)も販売している。



昭和50年3月発行

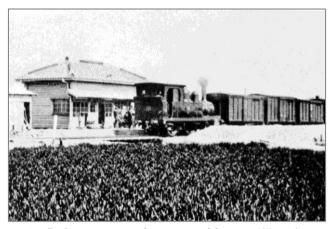


開通時の列車(篭川橋梁)B1 号機関車と説明が付記。大正 11年1月17日(越戸駅開業)撮影したもの? 一説には、 三河鉄道の依頼で橋梁上に列車を止めて撮影されたとか。

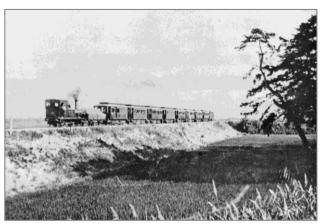
※ 三河鉄道には、転車台がなかったのか? 後ろ向きの蒸気機関車の画像が多い。 調べたが転車台の有無は不明。



高浜港 1104 号機関車



開業時の刈谷町駅(現・刈谷市)170 形機関車



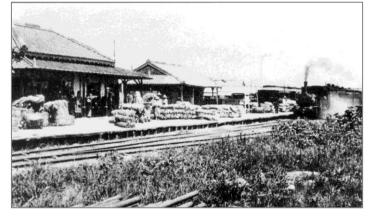
刈谷町(現・刈谷市)~小垣江間 120 形機関車



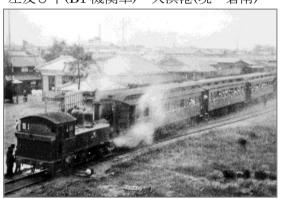
小垣江 120 形機関車

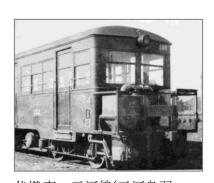


高浜港



左及び下(B1 機関車)…大浜港(現・碧南)

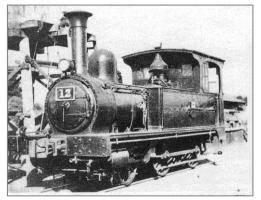




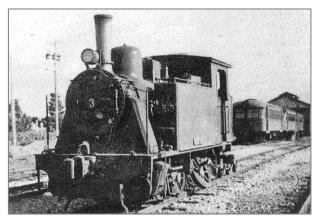
代燃車…三河線(三河鳥羽 ~蒲郡間で運転)



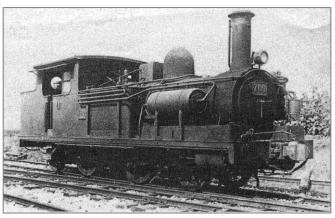
西幡豆に停車中の 7 0 9 号機…昭和 11 年頃



12 号機 鉄道省より尾西鉄道に払い 下げ、名古屋鉄道と合併後三河鳥羽~ 蒲郡間へ。現・明治村で動態保存。



3号機 大正 12年雨宮工場製 昭和 16年 10月 熊延鉄道から移籍、12・13号機と共に三河線(三河鳥羽~蒲郡間)で使用された。 西浦駅



709 号機 昭和 11 年三河線(三河鳥羽~蒲郡間) の非電化開業に鉄道省より譲渡された。

絵はがきでたずねる

明治・大正・昭和の刈谷

刈谷市郷土資料館

平成21年5月2日~6月14日

4(11) 三河鉄道 刈谷町駅前の光景(拡大写真別掲)

中部日本興国産業博覧会は、大正 13 年(1924) に刈谷城址で開催された。刈谷町駅(現刈谷市駅) 前の歓迎ゲートには、豊田紡織の文字が見える。



13(7) 三鉄刈谷町駅 •省線刈谷駅(拡大写真別場)

三鉄刈谷町駅 (写真上) の「三鉄」とは三河鉄 道のことで、刈谷町駅 (現刈谷市駅) はその主要駅 であった。省線刈谷駅 (写真中) 現 JR 刈谷駅。写 真下は市原港で、当時舟運が盛んであった。





三河鉄道の代表取締役氏名並在職期間

自 明治 45 年 5 月 30 日	取締役社長	斯 · 公 ·小儿 目	-1 >.1.	勘七	自 大正 5 年 4 月 5 日	取締役社長	神谷傳兵衛					
至 大正2年5月30日		此山 西	此川	武山	此川	此川	ЩШ	此山	此山	砌乙	至 大正 11 年 4 月 24 日	以称仅仁文
自 大正2年5月30日	専務取締役	役 三浦	逸平	自 大正 11 年 4 月 24 日	専務取締役	渡邊勝三郎						
至 大正2年6月29日			选十	至 大正 15 年 11 月 11 日		(皮)透粉\(\bar{\bar{\bar{\bar{\bar{\bar{\bar{						
自 大正2年6月29日	取締役社長	久保 抄	力 紀.	办好事 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	扶桑	自 大正 15 年 11 月 11 日	取締役社長	神谷傳兵衛				
至 大正3年10月8日			1人米	至 昭和11年10月2日	以师汉江汉	(2代目)						
自 大正3年10月8日	専務取締役	数 取締怨 阪 東	阪東 宜雄	自 昭和 11 年 12 月 21 日	取締役会長	米山 辰夫						
至 大正5年3月17日	5年3月17日	炒果		至 昭和 16年5月31日	以州汉云汉	水山 灰大						

(注)米山辰夫会長…昭和13年以降「社長制を採用」 昭和16年6月1日合併で名古屋鉄道の「取締役」



西中金〜足助間 夢と化す

大正 14 年 10 月 8 日、足助延長の起工式を猿投駅で挙行。昭和 3 年 1 月 22 日、西中金まで開通。後は西中金〜足助間の 7.4km を残すのみとなった。西中金〜井ノ口(追分)間 5.0km の用地を買収し、昭和 4 年 2 月 10 日、建設工事着手。架道橋や路盤造りの工事を開始したが、追分〜足助間の用地買収が難航し、折からの昭和恐慌と相俟って、工事施工の延期を繰り返した。

名古屋鉄道と合併後も工事は引き継がれたが昭和 33 年 6 月 27 日 鉄道起業廃止となった。追分までの路盤跡は生活道路や農道と化した。153 号線西中金方の橋台や足助方にあった橋脚は、車社会になり道路拡幅で撤去されたが、今でも足助方の橋台は現存している。



幻の橋脚跡(足助方から西中金を望む)…旧・パブリックゴルフ場手前(現・ゴルフ倶楽部大樹豊田コース)





昭和 42 年 12 月

平成 15 年 12 月





足助延長は、戦後2回機運が高まったが…。

1回目は昭和22年、足助商工会が中心となって「加茂電鉄」を創立し、西中金~足助間に電車を走らせようとする動きがあったが…。

2回目は豊田新線の開通をきっかけに、足助延長の要望が再燃し三河線延長促進会が発足。14名の代表世話人が地元の国会議員(中野四郎氏)を介して国土庁へ陳情書や署名簿が手渡されたが…。いずれも夢と化してしまった。



平成 25 年 11 月 9 日



三鉄の電化

∞大正15年2月5日

大正11年12月29日 電化工事と足助・蒲郡への延長建設のため、資本金400万円増資決議。

大正13年2月27日 400万円増資して資本金525万円とした。

大正14年8月15日 電化工事に着工し同年12月末完成。

大正 15 年 2 月 5 日 全線(大浜港~猿投間)電化。 刈谷・猿投変電所新設。

刈谷新~大浜港間→12 往復から 20 往復に、刈谷新~猿投間→9 往復から 18 往復に増発。

※大正 15 年 9 月 1 日 大浜港〜神谷間開通のとき大浜(昭和 22 年 3 月 「新須磨変電所」に改称)変電所 新設。(昭和 59 年 3 月 16 日…北新川変電所新設し、刈谷・新須磨変電所廃止)

右…100形のクロスシートのロマンスカーは、当時 夫婦式電車と呼ばれていた。

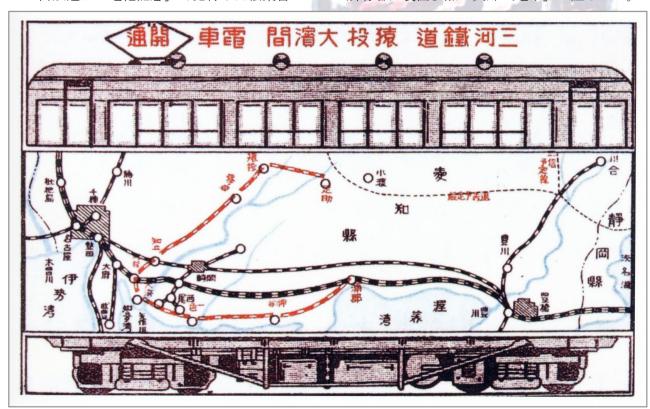
100形はボギー台車で、乗り心地も一段とアップ。

(注) 100 形は、正式には「デ 100 形」後の 1080 形

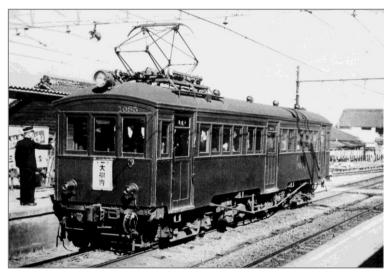




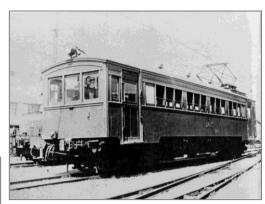
三河鉄道が「電化記念」で発行した絵葉書→DVD所有者は裏面参照「夫婦式電車」の証しが…。



三河鉄道の 100 形車両は、名古屋鉄道と合併 3 か月後の昭和 16 年 9 月、車両番号を「1080 形」に変更。昭和 30 年代前半まで三河線で活躍した。このうち 1088の台車は 3715 に、1087 は 3716 号車に使用された。



上挙母…100 形から車番変更した 1080 形



上…三河鉄道が電化したときの100形

6両(101~106)を田中車両で新造し 1年後の昭和2年東洋車両で製造され た2両が107号車と108号車である。

したがって、1080 形は計8両で1081 ~1088 号車まであった。101~106 と 107.108では寸法や細部が若干異なって いた。(田中車両→現・近畿車両)

大正 15 年 2 月、デビューしたとき、内装はクロスシートであったが、車両番号を変更したとき併せて、ロングシート化及び片側 3 扉に改造された。

車両長…15.291m 自重…29.3t 65PS×4 定員 100(48)

また、同9月1日に大浜港~神谷(松木島)間が開通、新造のクハ50形4両が登場したと記録にある。

三河鉄道の宝物

古レール



矢作川鉄橋(海・廃線区間)や西浦駅の工事用車両留置線にアメリカ製・ドイツ 製の古レールが…。その一部が「名鉄資料館」に保存。詳細は「鉄道ピクトリアル」2009年3月臨時増刊号及び9月号に掲載。

名鉄資料館所蔵



大正3年3月1日改正 三河鉄道の時刻表は 129頁に掲載



三鉄マークの境界杭

名鉄資料館所蔵

近の入海に流れるようにした。続いて、正保元年(1644)米津から鷲塚まで堤防を築いた。鷲塚まで堤防を築いたことで油ヶ淵が湖沼となっ 古川が本流であったが、 てしまいました。 矢作川の河口は油ヶ淵を含め米津橋まで入海だった。そこで、慶長8年(1603)徳川幕府の命令で水路を開削し、 その後、堤防は延伸され現在の姿になった。 下流の川幅が狭く上流で大雨が降るたびに下流で水害が発生し、

|河線の鳥瞰図が4枚あったが、

私が選んだこの鳥瞰図は、

矢作古川が本流で矢作川が支流のように描かれていたからである。

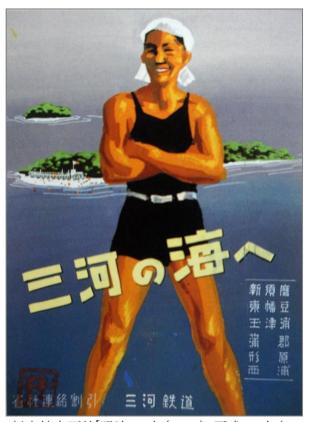
人家や田畑が多大な被害を受け人々を苦しめていた。

もともと矢作

矢作川の水流が米津付

元来、 矢作古川側が本流だったため、 この鳥瞰図も矢作古川が直線で描かれているような気がします。そう感じるのは私だけでしょうか。

用・北京





杉本健吉画伯[明治 38 年(1905)~平成 16 年(2004)]とは、三河鉄道も名古屋鉄道も昭和初期から親交があったことが分かる貴重な資料。

杉本健吉画伯の

ポスター

香嵐渓のポスターは、名鉄が三鉄と合併前に 名鉄の観光地用ポスターとして作成したもの。



昭和 10 年前後のポスター…名鉄資料館・ 杉本美術館所蔵

三鉄マークの鬼瓦

三鉄マークの鬼瓦は、3種類ありました。 挙母線(昭和 48 年 3 月 4 日廃線)岩津駅に は2種類使用。三鉄の守護神が「岩津天神」 であったので特別扱い?



在りし日の岩津駅舎



側面の鬼瓦

岩津駅舎の鬼瓦→上…側面に使用されていた。 左下…正面に使用されていた。

岩津駅舎の側面に使用していた鬼瓦は名鉄資料館で確認 したが、正面の鬼瓦は挙母線廃線後、一度も確認してな い。何処に?



下…名鉄資料館所蔵(小垣江駅に使用されていたもの) 小垣江駅鬼瓦の1個は「高浜市かわら美術館」に 二度ほど確認に訪れたが展示されていなかった。



名鉄資料館…平成 21 年 10 月 28 日



駅舎解体後、鬼瓦は各所へ寄贈されたと聞く。 駅舎解体前、鬼瓦が盗難にあったというが…。







海水浴場

玉津浦・新須磨・新明石海水浴場



最後の海水浴往復乗車券



昭和 24・5 年頃から海水浴シーズンは玉津浦から海岸まで貨物専用線を使用して海水浴客を花電車(当初は「お伽の国電車」と呼称)で輸送していた。

伊勢湾台風(昭和 34 年)で貨物線が使用不能となり昭和 35・36 年は碧南から玉津浦海岸までバスで輸送。以後、海岸を埋め立て臨海工業地帯に変身し海水浴場は消滅したがヴィーナス像の噴水式シャ

ワー塔(大浜熊野大神社の境内)は当時のまま現存している。

新須磨海水浴場にもヴィーナス像のシャワー塔があったが昭和 49 年碧南市 営衣浦マンモスプールの入口に移設、平成 15 年にマンモスプール閉鎖。平成 20 年市内の宮町公園に再移設された。シャワー塔の台座がないためか新須磨 海水浴場で見たヴィーナス像と異質なものと感じたが…本物とのこと。

(注) 玉津浦・新須磨海水浴場のヴィーナス像は、碧南市新川町出身の彫刻家・

加藤潮光氏の作品。



熊野神社の海岸一帯が瀬戸内海の須磨の浦に 面影が似ているところから「新須磨海水浴場」 と名付けてPRをした。



下…新明石(新川海岸)海水浴場



新須磨海水浴場のヴィー サス像、現・宮町公園(通 称…さかな公園)にある。

左…在りし日の新須磨海水浴場の松林

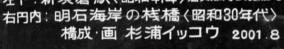
下…新須磨海水浴場のシャワー塔とヴィーナス像



玉津浦・新須磨・新明石海水浴場とも埋め立てられて一大工業地帯に変身し、昔の面影はない。



中央:新須磨海岸〈大正末期〉與谷朝夫氏提供の写真による 左上:新須磨海岸夜景 吉田初三郎画による絵はがきより 左下:新須磨駅〈昭和4|年〉倉知満孝氏撮影写真による





(注) 上の刻印…明石海岸は「新明石海岸」が正当

下…新明石海岸の桟橋



上…新須磨海岸夜景

下…新須磨駅









熊野神社北側の松林内にあるベンチ→海水浴客が使用していた現存するただ1個のベンチ 往時は、10数個あったという。



海岸で記念写真を撮る芸人一座

下…衣浦館前で海水浴客に芸を 披露する芸人たち。





上…衣浦館と微かに読める

新須磨海水浴場開設と共に料理旅館「衣浦館」として創業。夏は浜辺に休憩所を設けて海水浴客を接待、昭和37年防潮堤建設で海水浴場は消滅。その後「かっぽう衣浦閣」と改名して営業を続けてきたが、平成23年5月28日閉店。現在は喫茶店「茶亭 風和里」を平成23年11月18日オープン。隣の姉妹店…ビジネスホテル「新須磨」の玄関脇に何故か"新須磨駅"の駅名板が…?



写真は平成22年5月撮影(裏に平成24年4月8日撮影の写真有…DVD持参者参照)

煉瓦造りの開渠



高浜港駅舎内に



開業(大正9年)当時、建設された「金谷下開渠」 場所は上挙母~豊田市間 煉瓦造りの構造物と としても貴重なもの。

大正時代の写真が・・・。あれっ! ちょっと変?40年前と少し違うようだ。歴代の駅

長に尋ねる。平成9年頃、以前



長に尋ねる。平成9年頃、以前の写真から複写したとのこと。 左…平成21年12月30日撮影右…昭和45年頃に撮った写真 左の写真は複写したため、上下及び左右がカットされている。



※拡大して見ると「大正時代の高浜港駅」 と記してある。

三鉄時代からの大金庫

碧南駅と知立乗務区



大浜港(現・碧南)で は開業から平成21 年8月24日まで使 用していた金庫。

この金庫も駅員無配置化で無用の廃物に。

縦 138、横 99、奥行 88、足…21cm

知立乗務区では今も現役中…縦 118、横 88、奥行 60cm



(平成 25 年 12 月 現在)

踏切安全地蔵



「踏切安全地蔵…き志ゃにちゆいすべし」 と刻印。汽車が走っていた証しである。

…北新川駅構内(新川町7号踏切脇)

名號三河線



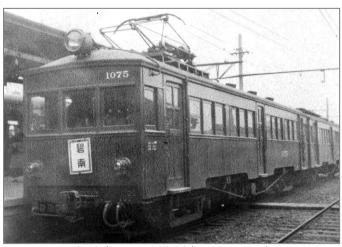
昭和 16 年 6 月 1 日 名古屋鉄道と合併



木造車

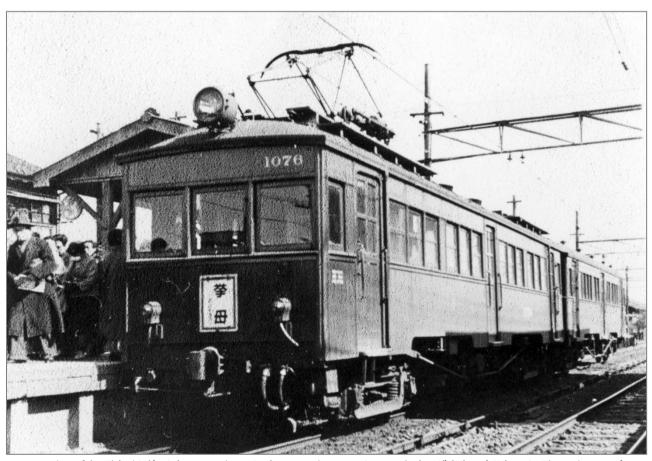


西中金のホーム…三河広瀬方は法面だった。

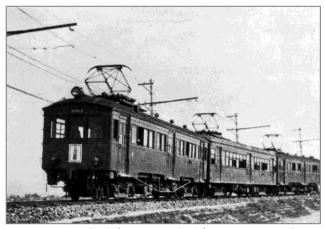


知立(現·三河知立)···1075 号車

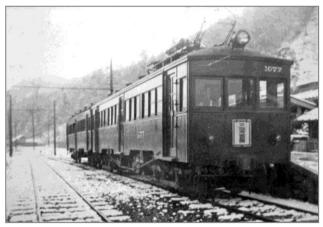
電車の原点はHL車。運転士の技量に差の出る電車。 モーターの唸りを聞きながら1ノッチ1ノッチ、ノッチを進める。早くノッチを投入するとOLRが動作し乗り心地が悪くなる。遅く投入すると電気の浪費。もう一度、運転したくなる不思議な電車。それがHL車。



1070 形は愛知電気鉄道が大正 13 年から大正 14 年にかけて日本車両製造で新造した電 6 形で、デハ $1060\sim1064$ 、 $1066\sim1074$ の 14 両で、昭和 10 年、名岐鉄道と愛知電気鉄道が合併するとデハ 1060 形のうち、複電圧車 $(1060\sim1064)$ はモ 1060 形に 1500V 専用車 $(1066\sim1074)$ はモ 1070 形に車番変更。 ※ 三河線で活躍した木造車や半鋼製車の台車は、昭和 32 年から逐次 3700 系に改造された。



三河八橋~知立(現·三河知立)間…1081 号車



西中金…1077 号車(旧電 6 形)



矢作川(海)…デ 100 形と 50 形



大樹寺…1081 号車(旧デ 100 形)



知立(現・三河知立)…1062 号車(旧電6形)



北新川〜新川町間…1101 号車(旧デ 200 形)



知立(現・三河知立)…1091 号車(旧デ 150 形)

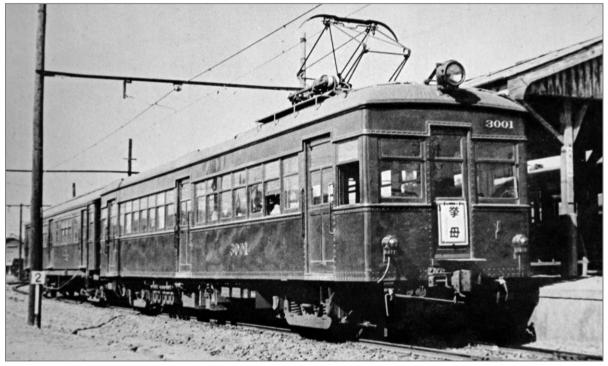
半鋼製車



知立(現・三河知立)…3001 号車



知立方から刈谷へ進入する 3101 号車 (旧デ 400 形)



3002 号車 (旧デ 300 形)

昭和4年1月100PS×4 定員120(56) 三河鉄道の旧デ300形でデビュー 名古屋鉄道と合併、3か月後の9月 車両番号をモ3000形に変更された。

初代・野村福太郎刈谷乗務務区長によると 3001 号車は、日本車両製であるが配線工事は刈谷工場内で施工し工場内で最終テスト。「レバー前進1ノッチ」前に進むと思いきや後戻りの逸話を持つ車両とか?



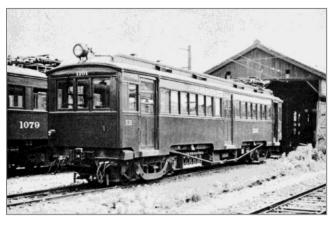
矢作川(山)…3001 号車(旧デ 300 形)



知立~三河知立間…3205 号車(旧電7形)

在りし日の

刈谷工場





昭和3年、伊那電気鉄道から デ 200 形を購入した三河鉄道は名古屋鉄道と昭和16年6月1日、合併、その年の9月にモ1100形に車番変更された。



工場内で車内外清掃中の1084号車

全鋼製車 ... 3 7 0 0系

木造車(1060.1070 など)や半鋼製車 (3000.3200 など)を改造して生まれ変わったのが 3700 系。

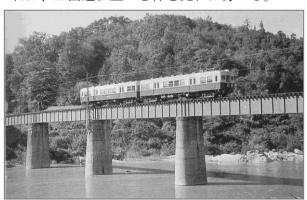


第1期車として、昭和32年10月1日 3700形(3701=3702と3703=3704の2 編成)がMMで登場しが、加速が高過ぎ乗客 に不評のためMT組成に変更された。

踏切事故防止対策の一環として、昭和36年以後M台の腰掛を嵩上げし運転士の頭部がダンプカーの荷台より高くなるように改良された。嵩上げしたM台は、正面運転室の窓枠を見れば分かる。



西中金…手前右側の側線に貨物ホームが見える



矢作川橋梁(枝下~三河広瀬)



西中金



知立…左から4・3・2番線 1番線は留置線(側線)



平戸橋



三河知立~知立



西中金の乗務員合宿所と3700形

昭和 32 年 10 月 1 日ライトピンクとダークマルーン(通称…チョコツートン) でデビュー



昭和42年7月13日から順次「ストロークリームとスカーレット帯」色に (ライトパープルは線路係員に不評のため変更)



昭和51年10月から順次、7000系と同色のスカーレット色に

電気機関車

三河線で活躍した電気機関車



重原



重原~三河知立間

貨物列車は知立駅に入線せず、重原⇔三河知立間 直通運転(貨物専用線…昭和59年1月1日廃線)

三河鉄道キ10形=デキ300形



親子ハンドルの 500 形

上田電鉄から譲受け 昭和15年三河鉄道へ 名古屋鉄道と合併後 は主に尾西線などで 活躍。昭和44年前後、 三河線で再び活躍、45 年に岳南鉄道へ。



平成5・6年の車体更新工事の際、塗装を黒色からメイテツブルーに変更。(※ 303.305.306…現存)



土橋



刈谷

名鉄では、つい先日まで三河鉄道時代を偲ぶ車両が活躍していた。それは電気機関車300形。電気機関車300形は、昭和2年8月~4年9月、三菱造船所で製造した新造車両の生き残りで、三河鉄道時代キ10形電気機関車として活躍していたが、昭和16年6月1日、名古屋鉄道と合併。3か月後の9月、車両番号変更整理をしたとき300形に車番変更された。

このうち306号車は、同じく三菱造船所で 製造した電気機関車であるが、一畑電気鉄道が

購入し、その後、三河鉄道へ譲渡されたもので、他のデキ300形と車体長・形状などが若干異なる。 風の便りによると、現在300形は工場内で廃車の日を待っているとか。また近々400形、600形も廃車され、創業 120年に因み、EL120形が新造されるという。

テキ400形&テキ600形



X±.HI.

猿投

三河知立

デキ 400 形(401.402 の 2 両)は昭和 6 年愛知電気鉄道が発注(日本車両)した電気機関車で昭和 10 年 8 月、名岐鉄道と合併したときも 400 形を名乗った。一方、デキ 600 形($601\sim604$ の 4 両)は昭和 18 年、名古屋鉄道が発注(東芝)した電気機関車である。(※ $401.402\&601\sim604$ …現存)

昭和 30 年代半ばになるとトラック輸送が急成長し鉄道の貨物輸送が衰退していった。名鉄でも貨

物営業取扱駅が次々と集約され、貨物列車の列車本数が減少。昭和41年になると名古屋本線西・尾西線・津島線などでは貨物列車が廃止された。余剰となった400・600形の電気機関車が三河線に入線してきた。

昭和41年2月から名古屋本線の矢作橋、東岡崎、美合の貨物列車は知立乗務区が知立信号所経由で担当した。



碧南



平成5年(1993)の特別整備の際、塗装を 黒色からメイテツブルーに変更。



猿投



平成4年(1992)の特別整備の際、塗装を 黒色からメイテツブルーに変更。

知立連絡線

(知立信号所)



知立信号所…三河鉄道と愛知電気鉄道の貨物相互乗入れ線として、知立(現・三河知立)~知立信号所間 0.8km を昭和3年6月1日開通。 (昭和59年4月1日廃止)

昭和 16 年 6 月 1 日、名古屋鉄道と合併、 不便であった新知立駅(後の東知立=昭和 43 年 1 月 7 日廃止)と知立駅(現・三河知立)間 に連絡通路が階段で結ばれ両駅が統合し知 立駅となる。

昭和25年9月17日から朝夕のラッシュ帯 に名古屋本線直通列車を運転。勿論、知立信 号所経由である。



平成 21 年頃の信号所跡



笠松構内を特急大浜港(現・碧南)行が…。



名古屋本線側の知立駅舎(東知立駅)とホーム





昭和34年4月1日から 東知立駅と改称(昭和43 年1月7日廃止)

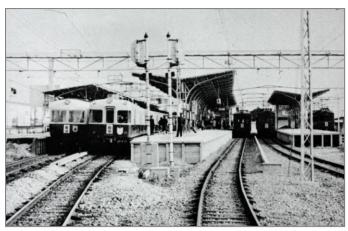
名古屋本線は矢印の通路を通り階段を登る。三河線の 知立(現・三河知立)から名古屋本線の知立へ行くには、 階段を上がり通路を通り再び階段を上って乗換えた。

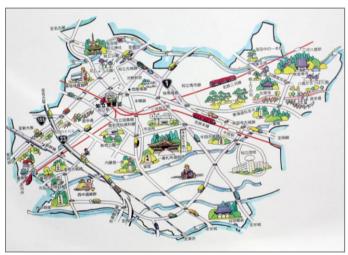
知立即移設

昭和34年4月1日

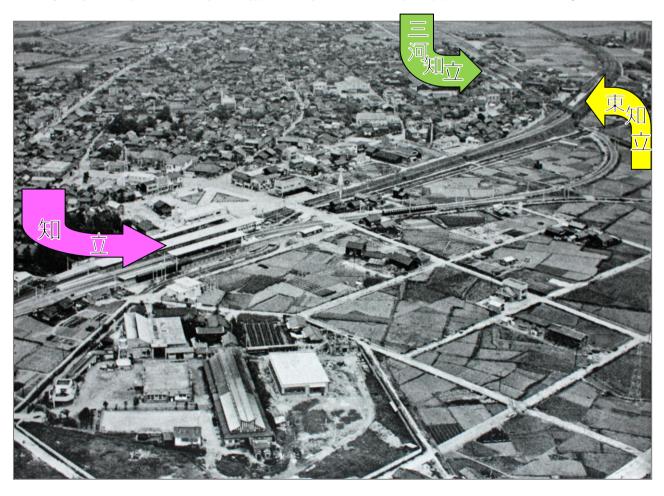


三河線と名古屋本線との直通列車は昭和 25 年9月17日、知立連絡線経由で開始されたが、昭和34年4月1日、旧知立(現・三河知立)の名古屋方 0.7km に知立駅を移設してルートを変更。直通運転を更に容易にし、かつ、乗換えがスムーズにできるよう改良された。





※ 現在、三河線はワンマン化に整備された専用車両のため直通営業列車はゼロである。



冷暖芹草登場

3780₩≥

昭和41年12月25日

三河線・挙母線に待望の冷暖房車登場



トヨタ自動車前(右が 3780 形)



举母線·矢作川橋梁

名鉄では、昭和34年4月1日、5500形が日本で 初めて通勤輸送に冷房車を使用し脚光を浴びていた が、支線では昭和41年12月25日のダイヤ改正で 3780形が冷暖房車として登場した。勿論、三河線・ 挙母線にも入線し旅客に大好評でした。



7300形

昭和 46 年 12 月 27 日のダイヤ改正から当初 支線用特急として登場し、三河線などで使用開

始された。



御船川橋梁



上挙母



大樹寺

自然從害の爪痕 台風13号

昭和28年9月25日

一色町(現・西尾市一色町)の堤防(外堤防…41 箇所、中堤防 12 箇所)は53 箇所が決壊。吉田町(現・西 尾市吉良町)の堤防も74箇所決壊。



三河吉田



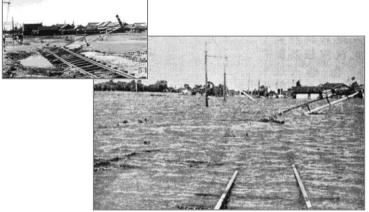
矢作古川右岸・堤防応急復旧工事



三河一色



西尾線三河吉田2号踏切



松木島上り場内信号機(腕木式)倒壊

台風 13 号の被害で、松木島~三河吉田(現・吉良吉田)間は昭和 28 年 11 月 14 日まで運転休止した。



玉津浦付近(旅客・貨物ホームがくっきり)



三河吉田~矢作古川間



写真の右側一帯は旧一色町立一色中学校

伊勢湾(15号)台風

昭和34年9月26日



松木島~三河吉田間



上…中畑ホーム崩壊 台風で奥田新田堤防が決壊し、三河平坂 ~三河旭間は干潮時は運転し、満潮時は、運転休止が 40 数日間続く。



三河一色~西一色間







三河一色〜西一色間…上2枚→補強された一色 排水路の橋脚 左側の写真では右側の橋脚 ・・玉津浦〜碧南間 下…棚尾〜玉津浦間







上及び右…玉津浦~碧南間(第1堀川橋梁)





新川町・臨港線(新川口)に乗り上げた船



刈谷工場横



重原~知立間 知立第1場內信号機付近

S47. 7の集中豪雨 昭和 47年7月9日、夕方から降り出した雨は 12 日夜半から一層激しさを増した。その上、台

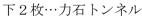
風6号と重なり未曽有の豪雨をもたらした。この

影響で足助・小原など三河の山間部は陸の孤島となり、猿投~西中金間も各所で線路が土砂で埋没した り道床が流出したり陥没した。また、挙母線の矢作川橋梁も痛手を受けた。この影響で猿投以遠及び挙 母線のトヨタ自動車前以遠は、13日初列車から約1か月間運休した。



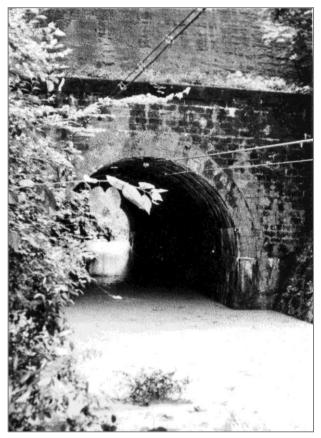


上2枚…広瀬トンネル

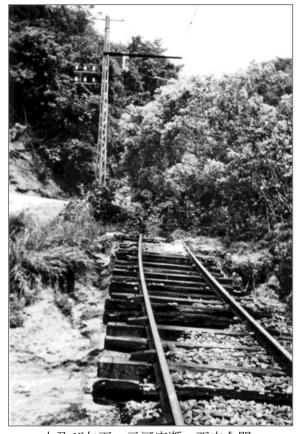








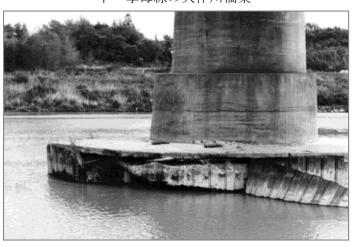
力石トンネル



上及び左下…三河広瀬~西中金間



下…挙母線の矢作川橋梁



矢作川の橋梁は、この豪雨で痛手を負い、速度規制 を廃線前日(昭和 48 年 3 月 3 日)まで、15km/h の制 限を受け運転していた。

意識区間の歌音

三河吉田(現·吉良吉田)···昭和 49 年頃

平成 12 年 11 月頃

神谷→松木島



下…駅舎改札口前のコンクリー 跡は今でもくっきりと… 平成 24 年 10 月



海線

三河吉田→吉良吉田

開業…昭和3年8月25日

昭和 18 年 2 月 1 日 旧西尾鉄道の 吉良吉田駅を南へ 0.2km、三河線 の三河吉田駅を東へ 0.2km 移設し て両駅が統合し、三河吉田駅に。 35 年 11 月 1 日に「吉良吉田駅」 と駅名改称



昭和60年頃

開業時、先代の神谷傳兵衛の姓をとって「神谷駅」として開業。 駅舎内は駅長室と貴賓室があり、貴賓室にはレットカーペットが敷かれ豪華な応接セットがあったという。

昭和 24 年 12 月 1 日、松木島 駅と駅名改称。 昭和 53 年 9 月に駅舎撤去。





三河一色



駅舎撤去は廃線後…平成20年6月

戦前は「いしき」でなく「いっしき」であった証し。呼称方の変更年月日不明。



味浜→ 西一色



味浜駅として開業。昭和2年10月25日 西一色駅と駅名改称

駅舎撤去…昭和61年



北寺津 駅舎撤去…昭和45年

昭和2年7月25日開業 19年 休止、昭和44年4月5日廃止

三河櫥



駅舎撤去…昭和 33 年頃 上屋撤去は平成 17 年

三河平坂



駅舎撤去は廃線後…平成18年6月

中畑



ホーム&上屋撤去…平成17年7月



駅舎撤去…昭和 44·45 年頃

駅舎撤去は昭和 41・42 年頃 上屋撤去は平成 17 年頃

玉津浦



駅舎撤去…昭和 42 年 昭和 34 年 12 月 3 日、タブレット 閉塞器撤去

猿投



現駅舎・平成5年9月1日完成





平成5年に解体されたとき、発見された駅舎棟札から 昭和7年11月6日、井上徳三郎が寄贈した証しが…。

井上徳三郎氏から

猿投構内の土地6000坪&駅舎の寄贈



井上徳三郎



猿投駅開業の祝辞



昭和47年頃(平成5年解体された駅舎)

領徳碑と井上の地名 [井上町11丁目] 顕徳碑は故井上徳三郎氏の偉業を讃え、大正15年、当時の 猿投村が建立した石碑である。碑の表面には「井上真冽翁頌 された方である。昭和11年には、それまで大学四郷字東山を、 字井上に改称した。 [21年度わくわく事業] 井上町自治区 井郷まちづくりの多



井上徳三郎の碑

三河御船



駅舎撤去…昭和41年

平成 10 年 5 月

枝下





駅舎撤去…昭和 42·43 年頃

引込み線(三星粘土→現・東海セラミックス)



平成 16 年 7 月 4 日

三河広瀬



※ 旧三河広瀬・西中金の駅舎及び プラットホームが平成19年10 月2日…登録有形文化財に。

詳細…100 頁



昭和 58 年頃



平成 23 年 7 月 28 日



平成21年4月9日



平成 23 年 5 月 25 日

西中金



昭和50年4月



昭和50年9月

駅舎の新築・改良

知立



昭和51年7月



平成 24 年 12 月 20 日



知立駅開業前…昭和34年3月

昭和34年4月1日開業



平成2年5月

重原



平成 10 年頃



平成 18 年 10 月

刈谷・左の建物は刈谷乗務区、知立移転後は 貨物乗務員詰所→現・ホテル(名鉄イン刈谷)

貨物乗務員詰所→現・ホテル(名鉄イン刈谷)

平成 10 年 8 月

刈谷



手前・刈谷南口駅舎と右奥・刈谷乗務区 昭和 31 年 11 月



平成 20 年 12 月 1 日、駅南口のペデストリアンデッキ「みなくる刈谷ウイングデッキ」が完成、南北自由通路と接続し使用開始。 平成 21 年 11 月 26 日

刈答町 → 刈谷市



昭和56年頃

刈谷市付近高架化(刈谷市~刈谷間複線化) …昭和 55 年 12 月 14 日



刈谷町駅として開業。昭和27年3月1日刈谷市駅に改称 昭和49年4月



平成 10 年 5 月 三鉄マークの鬼瓦を9個も使用していた

小垣江



平成 18 年 8 月 6 日

貴重な駅舎だったが解体され、平成17年9月14日 駅舎を吉浜方ホーム先端に新築移設



昭和53年10月



平成 10 年 5 月



平成17年9月14日…駅管理システム導入のため再改築

三河高浜



平成 10 年 5 月



橋上駅化…平成6年12月25日



昭和55年7月

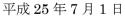
昭和55年12月以前

新須磨 → 碧南中央

昭和 55 年 12 月 14 日、新須磨駅から知立方に 0.2km 移設し碧南中央駅に改称



昭和58年7月







駅舎…昭和34年頃 大正9年11月1日 挙母駅として 開業、昭和34年10月1日豊田市■ 駅に改称



上…挙母駅•下…豊田市駅 拡大すると駅名が判る。



攀骨 → 豊田市



平成 10 年



冬の風物詩…イルミネーション 平成 20 年 12 月 10 日



地下の出札窓口





トヨビル…昭和 45 年 2 階建てから 4 階建てに増築

梅坪

昭和54年7月29日、豊田新線(昭和61年9月29日…豊田線に改称)が開通し起点駅となる。



昭和60年



昭和 48 年



仮駅舎 昭和51年9月

梅坪の「開驛紀念碑」は旧駅舎越戸方の築山にあったが、駅前整備や豊田線開業高架化工事で、3乃至4回、移動し現在箇所に落ち着いた経緯がある。裏面を見ると「大正12年8月建之」と刻んである。 梅坪駅が開業したのは、大正12年10月26日。開業前に開驛記念碑が?

昭和 32 年頃、猿投在住の職場の先輩に尋ねたことがある。明治中頃まで地名は「梅ケ坪」。その後「梅坪」と地名変更。駅が開業するとき「『梅坪』派」と「『梅ケ坪』派」で争ったため、開業が 2 ケ月遅れたとか。その後、「知乗の生い立ち(平成7年11月16日発行)」を書くとき改めて、書物や名鉄文庫(現・名鉄資料館)などで調べたが真相は判らなかった。





上2枚…昭和46年

日本日政府大会社

昭和51年6月

平成 20 年 11 月 14 日

梅坪開驛紀念碑



平成 25 年 5 月 25 日

平成 10 年 4 月



昭和30年代



昭和20年頃

平戸橋



平成 21 年 12 月



平成 10 年



高架化…平成 21 年 12 月 12 日

三河八橋







上…昭和 54 年

下…平成 24 年 9 月 12 日



昭和34年

昭和34年4月1日「知立駅」を名古屋方に新設し それまでの知立駅を分割。三河線の知立駅を三河知立 駅に名古屋本線の知立駅を東知立駅(昭和43年1月7 日廃止)に駅名を改称



54

三河知立

土橋

土橋駅舎は、伊勢湾台風で罹災し改築。平成7年3月11日、乗務員合宿所も兼ね新築したが駅前を拡張するため、平成22年3月27日、橋上駅が完成。南北に駅前広場ができ、一般通路も併用。これで鉄道利用者は勿論、地域住民も便利となった。



平成7年3月11日新築された駅舎



伊勢湾(15号)台風で改築された駅舎…昭和54年



竹村方から見る

橋上駅化…平成 22 年 3 月 27 日 (南北自由通路併用)





上…南口 下…北口



平成 23 年 7 月 11 日

HLAMO

3700系



3715 号車…(台車は旧・1088 号車)



トヨタ自動車前(左→3700・右→3780)

3700 系(3700・3730・3770・3780 形)は、主に三河線で活躍した(1060・1070・1080・3200 など)木造車や半鋼製車を改良した車両で3700 形は三河線で最後(平成8年4月8日)を迎えたが3780 形は平成8年5月26日、瀬戸線でその一生を終えている。

なお、常滑線では、平成8年3月20日、3730形のさようなら 運転が実施された。 (8730形)

(注) 3700 系 第 1 次車の $3701\sim3704$ は、昭和 32 年 10 月 1 日MMで登場し、その後、Mc=Tc 組成に変更。第 2 次車は $3705\sim3721$ 、第 3 次車は $3731\sim3763$ 、第 4 次車は $3771\sim3776$ で、第 3 次車 3731 号車以降は名鉄初の両開き扉($1100\rightarrow1300$ mm)になった。



瀬戸線ではスカーレットにホワイトの帯

引退を目前に控えた3700形

三河知立~知立間…平成8年4月4日



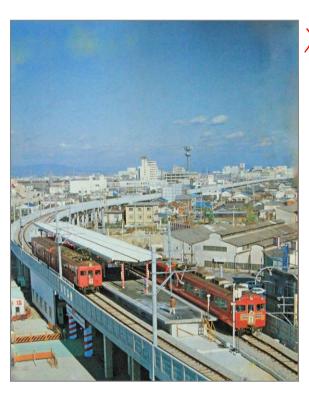
三河知立~知立間…平成8年4月4日



平戸橋…平成8年4月4日



高 架 化 区 間	切 替 年 月 日
刈谷市付近(刈谷~刈谷市~小垣江)2.3km	昭和 55 年 12 月 14 日
上举母~梅坪間 3.4km(単線)	昭和 60 年 12 月 1 日
豊田市~梅坪間 1.4km(複線)	昭和61年10月1日
寺津~三河楠間 533m	平成10年4月24日(平成16年4月1日廃止)
越戸付近 1.3km	平成 11 年 7 月 3 日
三河八橋付近 1.6km	平成 21 年 12 月 12 日



刈谷市付近









上举母~豊田市間



豊田市



上挙母~豊田市~梅坪





右…三河線)



上…豊田市の梅坪方 下…梅坪







豊田市新駅舎

高架完成





昭和60年11月1日

寺津~三河楠間



平成 10 年 4 月 24 日、使用開始し僅か、6 年足らずで、無用の廃物(平成 16 年 4 月 1 日廃線)と化す。











越戸付近

左…越戸駅(上りホーム) 下…篭川橋梁 平成 22 年 2 月 28 日



三河八橋付近 高架切り替え

平成 21 年 12 月 11 日終列車後切り替え







三河知立方の切り替え箇所



若林方の切り替え箇所



L E-car

10形





西中金



三河御船~枝下間

10 形… 2 期車



LEカーとは Light Economy-Car の略で、富士重工が閑散線区用に開発した商品名。「レールバス」のことである。

名鉄では昭和59年3月23日、八百津線で営業運転したのが最初で、猿投~西中金間では、昭和60年3月14日、碧南~吉良吉田間では、平成2年7月1日から営業運転を開始した。

10形1期車 (11,12,13号車)3両は、非 冷房車で八百津線に、猿投~西中金間の2 期車は(14,15,16号車)は冷房車のため、60 年6月に三河線は12,14,16の偶数車、八 百津線は11,13,15の奇数車に差し替えら れた。10形は1軸台車のため、横揺れが 酷く乗り心地が悪いと旅客や運転士に不 評だった。

平成2年7月1日、碧南~吉良吉田間 にもLEカーが導入。新造車20形のボギ ー台車が導入された。

左…碧南中央に進入する 20 形。猿投検査 場で車両検査のため、1 日 1 往復、碧南~ 猿投間を営業運転していた。

猿投に停車中の20形





30形の発車式(碧南)…平成7年3月1日



上…三河平坂~三河楠間

下…三河広瀬



30形

平成7年2月、10形が廃車され、代わって登場したのが30形、この30形には砂撒器付き車両となり、山線で秋になると落葉が原因で空転し、登坂不能で苦しんだ運転士に朗報をもたらした。

しかし、過疎路線の生き残りをかけて、導入 した L E カーも利用客の減少に歯止めがかか らず、平成 16 年 4 月 1 日廃線となった。



上…西中金~三河広瀬間下…吉良吉田







三河線阿索瑞区間底止

ふれんどバス

平成16年3月27日 9:00





試乗会に乗車した人に配布された開設記念乗車券

吉良吉田駅長とふれんどバス運転士に花束贈呈





山線の代替バス



レールバス お別れ会



西中金



平成16年3月31日

平成 16 年 3 月 31 日、1020D (10 時 43 分発)列車で「さようなら発車式」が行われた。

発車式を撮ろうとホーム上は 勿論、ホーム反対側の道路や 岩倉神社前までカメラ片手に 陣取り合戦…。

9時50分から西中金駅連絡バス 回転場で「レールバスお別れ会」 が地元石野地区主催で開催され、 13時ごろまで、延々と続いた。







上及び右…西中金

廃線1ヶ月前から、最終日の3月31日まで 連日、大勢のお客様が、最後の別れを惜しんで、 LEカーに乗車。

学校が春休みに入ると朝から車内は満員。 特に、最終日は、車内も各駅ホームも鉄道マニアや地域の人達で人の波…。







活がはる単純国にはいる。最終便を送る会・河・海

ボランティア団体「夢!応援団」代表者から運転士に花束贈呈

ちょとだけ写真展

子も、満員電車、に乗り込四)、颯太郎君(六つ)親千葉県の鈴木智江さん(三市楠村町に里帰りしていた



ボランティア団体「夢!応援団」主催で行われた「ありがとう三河線!最終便を送る会」が 18 時から「ちょっとだけ写真展」を駅舎内に掲出し、昔懐かしい戦前の写真やLEカーの写真を掲出。続いて、21 時から「思い出を語る会」を開催。三河線に関わった9名の方が、体験談などを駅舎南側の広場で語り、最後に参加者全員で「故郷」を合唱。最終列車到着前、約200名がホームに出て列車を迎えさしたカーの尾灯が見えなくなるまで見送り、誰一人帰ろうとしなかった。



私のふるさとは鉄道 一色=は「日本人の とは富士山といいた とは富士山といいた

▲は鉄道です。 本人のふるのです。 上れりますが、 本人のふるのです。



岡崎から来て三河線に乗車した田中さん、里佳子さん夫妻。

私心

グボー 学年フ合



吉良吉田



三河一色



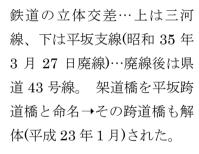
一色排水路



西一色



三河楠~三河平坂間







三河平坂





平坂跨道橋…平成23年1月20日解体

以ちこう博物館に

駅名板・時刻表・運賃表が…。



平成22年1月8日



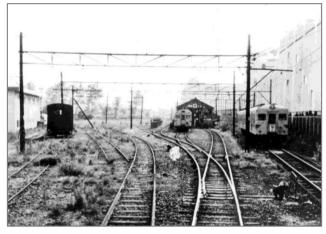
一色高校から「駅名板や時刻表」を保存したいと申し出があったとき、名鉄は快く承諾したという。 それは昭和46年(1971)2月、駅員無配置になってから一色高校の華道部の生徒たちが、部活で使った 生け花を待合室に飾ったり、清掃して乗降客の心を癒してくれた「細やかな感謝の印」だったとか。





武備等変叉

川谷工場 から



猿投検査場

三河鉄道時代から安全輸送を影で支えた 刈谷工場も猿投検査場へバトンタッチ。

猿投構内の 配線変更

昭和54年6月10日

三河線・豊田線の車両及びLEカーの車両検査をするため、配線変更をして検査場を新設。 平成5年4月1日…豊田線の6両運転化に伴い











小垣江構内の 配線変更

平成14年7月6日



左…新線建設中(右…旧線)

駅西の「前川」は、大雨(10 数年に一度?)が、降ると氾濫し、駅周辺が床下浸水、時には床上 浸水したこともあった。

前川の改修工事に伴い小垣江駅構内も嵩上げし、 配線変更と併せて、駅舎も移設した。



10日メイトでは 10日メイトでは 10日 メイトでは 10日 ドライトでは 10日

梅坪

駅集中管理 システム導入

駅集中管理システムの導入で、乗務員(ワンマン化)や駅員の人員削減を図った。

山線…平成 13 年 5・6 月に(同年 10 月 1 日ワンマン化) 海線…平成 17 年 8・9 月に(平成 18 年 4 月 29 日ワンマ ン化)



北新川



碧南



竹村





蒲郡市民会館正面玄関ロビーのボードに表裏9枚掲出された。

西尾·蒲郡間廃止反対運動? 平成21年12月18日



趣旨に協賛し応援する一色高校の先生・生徒代表ら…吉良吉田駅前



西尾高校1・2年生(640人)全員が参加し、班ごとに 手作りの旗を掲げて、「こどもの国~西尾間」の体感 ウォーキングをしながら 鉄道の存続を訴える活動を 2学期終了直前の12月中旬に実施。

平成21年から開始し現在も継続している。

ゴールを待つ西高の先生と PTA の役員たち



下… 第1 陣…14 時 02 分到着。ゴールイン



西尾駅前



74

20世紀末 三河線で活躍した

車両たち



吉浜~三河高浜(6800)



北新川~新川町(7700)

平成10年(1998)~ 平成12年(2000)撮影

2000世紀末には三河線も多種多様な車両が 入線し、土曜・休日には、カメラ片手のマニアの 姿をよく見かけたが、ワンマン化(山線…平成13 年10月1日、海線…平成18年4月29日)以後 は、ワンマン化に整備された三河線専用車両しか

入線せず、7100 や 7700 の引退後は、6000 形一色になりマニアにとって魅力のない線区になったのか、今では三河線両末端廃線区間跡を撮っているマニアの方が多いように思われる。



北新川~高浜港(7700)



刈谷市(5300)



高浜港(1800)



重原'(5700)



重原(5500)



三河知立~知立'(6000)



三河知立(5500)



三河知立~三河八橋(6500)



土橋~竹村(7100)



三河知立~三河八橋(6500)



若林(5300)



上举母(5300)





三河線ワンマン車(平成21 年《2009》12月31日現在)

6003-6303-6103-6203 6034-6234 6042-6242 7705-7706 7713-7714

 $6015 \hbox{-} 6315 \hbox{-} 6115 \hbox{-} 6215 \qquad 6037 \hbox{-} 6237 \qquad 6043 \hbox{-} 6243 \qquad \qquad 7707 \hbox{-} 7708 \qquad 7715 \hbox{-} 7716$

6016-6316-6116-6216 6038-6238 6044-6244 **2** 両×8本(16 両)

6017-6317-6117-6217 6039-6239

4 両×6本(24 両) 2 両×11 本(22 両)

6 0 0 承 ※6000 系とは=6000 形、6500 形、6800 形を含むが、最近では6000 系 6500 系、6800 系と一般に呼称している。7100 系、7700 系も然り。 以後、○○系という。



知立



新川町



三河知立

7700系



碧南





7700系白帯車



高浜港



碧南



刈谷市

三河線で「ラブランクで「三河線で

7100系



7100 は 7000 系の 9 次車で昭和 50 年 6 月(12 両)中間車として製造された。従来のドアは、片側 2 ドアの片開き(1100mm)であったが、朝夕のラッシュ対策としてドアは両開き(1300mm)に、ドア 付近のシートをロングシート化して混雑緩和を図った。6次車の中間車に編入し6両固定組成とし た。パノラマカーの組成変更により余剰となった中間車2両の7100に運転台を設置し昭和59年に 4両組成で運転。その後2両組成となり運転していたが、ワンマン運転用に改良され三河線で最後

の奉仕をした。

その役目も、平成 21 年 11 月 27 日で営業運転 を終わり、翌々日の11月29日、7700系2両と 連結し4両で、豊明~伊奈~本宿間で「さような ら運転」を実施後、完全引退をした。



7100系の特色

7100 系は 6000 系と同系で登場する予定で 車体を改造していたが、7100系と6000系で は最高速度が異なるため 運転士の錯覚防止策 として車体は6000系、運転台は7700系とし た経緯がある。(片側2扉と3扉が異なるが…)



7101

7104



知立…平成 21 年 11 月 4 日



三河知立 10 号踏切



猿 投



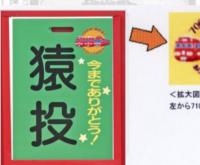
平成22年1月18日

7700 系は昭和 48 年登場した 車両で当時特急車として運用 していた 7000 系(パノラマカー)との連結を考慮 し前頭部を除き車体・性能は 7000 系と同仕様と した。当初は8編成(2両組成は4編成、4両組成 は4編成)であったが、その後、4両組成の中間車

が 7000 系に組み込まれるなどの経緯が…。

最後は三河線のワンマン車両として活躍。車両 老朽化や部品調達が難しくなり、平成22年2月 26日をもって定期運行を終了し、3月21日「さ ようなら運転」を実施し引退した。

「さようなら系統板」の掲出…平成22年2月1日~2月26日





左から7100系、7700系、7000系





平成22年2月3日











矢作川鉄橋

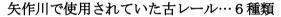
解体作業の土産

平成 22 年 1 月 29 日

下の写真は「N.C.R.M.C^o.STEEL.I.80」と 刻印されている。

矢作川鉄橋の架線柱にアメリカ製の古レー ルが使用されていた。

鉄道ピクトリアルの 2009 年9月号(松永直幸氏寄稿…名鉄資料館長)によれば、「架線柱は三河鉄道営業報告(大正15年4月~9月)によると50ポンドレールを加工利用したとあり、建てた年代が分かる。三河線沿線に多く残るロシア製を期待していたが、1880年代のアメリカ製であった」と記している。



JOLIET 80 JOLIET 1882 JOLIET 1882

N.C.R.M.C^o. STEEL.I.80 N.C.R.M.C^o. STEEL.III 84 85 UNION STEEL C_o. XI.87 このうち、N.C.R.M.C^o.STEEL.と UNIONSTEEL.C_o は、名鉄沿線では初見とのこと。







碧南

現在の 駅舎



碧南中央





北新川



高浜港



三河高浜



吉浜



小垣江



刈谷市



刈谷



重原



知立



三河知立



三河八橋





若林



竹村





大正9年8月31日開業 以来の貴重な駅舎です。



土橋





梅坪





豊田市



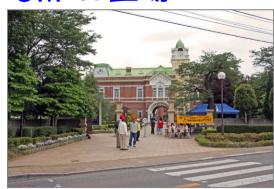
平戸橋



猿投駅前ロータリー完成…平成25年3月

シャトーカミヤ テレビ CM に登場





上…平成 21 年 5 月 16 日



下…平成22年2月17日・薄らと雪景色







上…バリアフリー完成…平成 23 年 3 月 23 日

加立駅付近

高架工事着々と・・・

平成35年(2023)完成予定

平成22年7月12日

知立駅完成予想図が平成12年頃より「知立市歴史民俗資料館」の玄関ロビーに展示してある。 1 Fは改札口、駅業務施設及びコンコース等、2 Fは名古屋本線、

3 Fは三河線となる。

現在、駅周辺では、立体交差事業のため、仮線用地を確保し仮側道工事及び明治用水の管路移設

工事など準備工事が始まっている。



上…平成 25 年 4 月 22 日



知立1号踏切跡から…平成25年11月21日



1番線の海側に仮線用地確保…平成25年12月1日

100年目の日…平成26年(2014) 2月5日







8:17 着の碧南中央駅の通学風景



名鉄三河線 100年振り返る



三河線開通100周年 記念系統板2種類









100thの系統振を掲げた列車



新川町







碧南



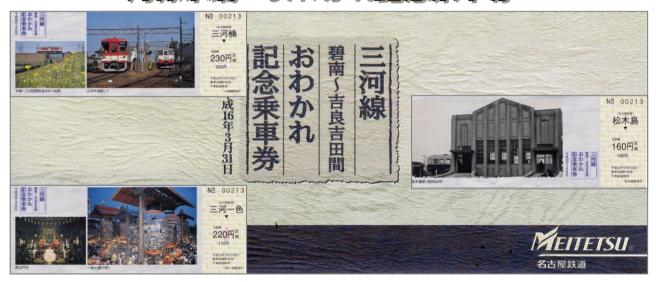
70周年記念乗車券











100周年。12会儿参ックカード



碧南中央駅配布カード





刈谷駅配布カード





知立駅配布カード





猿投駅配布カード





廃線から10年、我々の故郷・三河線廃線区間の 橋梁・駅舎跡が一つ、また、一つと消えてゆく。 寂しい…です。



矢作川(山)…平成22年4月3日









松木島…平成 23 年 10 月 3 日





三河広瀬…平成 21 年 11 月 28 日



玉津浦…平成 22 年 11 月 28 日



三河広瀬~西中金…平成 20 年 11 月 26 日



西中金…平成 17 年 12 月 19 日



解体中の矢作川(海)…平成22年2月6日

意義区間の貨物ホーム師

三河広瀬





三河旭





中畑

駅前の(株)OTICS(旧・小田井鉄工)が 中畑構内跡地を購入し平成17年8月中 畑の旅客及び貨物ホームを撤去し、用地 を更地にして、本社工場の駐車場を新設 したため、鉄道の面影は消滅した。

(株)OTICS は、三河平坂2号~3号踏切間の線路用地も購入し、翌年8月、平坂 江口工場の駐車場を増設。

三河楠





寺津



西一色





国の登録有形文化財…旧三河広瀬・西中金の駅舎&プラットホーム

旧・三河広瀬の駅舎とフラットホーム

駅舎…昭和2年(1927)

木造平屋建、鉄板葺、建築面積 50 ㎡ 1棟登録年月日 平成 19年(2007) 10月 2日

市中心部から約9km 東北に位置する旧鉄道駅舎。桁行11m、梁間4.4m、切妻造鉄板葺、平入の木造平屋建。東半に開口部を広くとる開放的なつくりの待合室、西半に駅員執務室等をあてる。外装は下見板張で、腰は厚手の目板を打つ独特なつくりとする。

登録の基準…国土の歴史的景観に寄与しているもの

プラットホーム

駅舎より約10m北側に位置する。当初は延長40m、幅2.6m、高さ0.6m規模の東西に長い石造構造物をコンクリートで嵩上げしたもので、後に延長80mに拡張され、隣接して流れる矢作川に沿って緩やかに湾曲する平面となる。南北の両側面には花崗岩の布積をあらわす。

登録の基準…国土の歴史的景観に寄与しているもの



旧・西中金の駅舎とフラットホーム

駅舎…昭和5年(1930)

木造平屋建、鉄板葺、建築面積 54 ㎡、上屋付 1 棟

登録年月日 平成19年(2007)10月2日

市中心部の東北、約10km 東北にある名鉄三河線の旧終着駅。道に南面する桁行14m、梁間3.6m、切妻造鉄板葺の木造平屋建で、ホーム側に上屋を付ける。内部は東半を待合室、西半を駅員執務室等とする。外装は下見板張、腰一部竪板張。

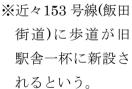
登録の基準…国土の歴史的景観に寄与しているもの

プラットホーム

旧西中金駅舎に接して北側に位置する。延長 36 m、幅 3.7m、高さ 1.0mの東西に長い直線状の構造物。花崗岩の谷積で築き、上部には五角形の石材を据えて形状を整える。上屋を付けない簡単なつくりで、駅舎とともに田園に馴染む鉄道景観をつくり出す。

登録の基準…国土の歴史的景観に寄与しているもの









豐田新總開通



昭和54年7月29日



新三河鉄道が昭和2年9月11日、挙母町で設立 総会を開催。社長に三河鉄道の神谷傳兵衛(2代目) が就任。翌年の12月、挙母~八事間の鉄道敷設免 許を取得。昭和16年6月1日、名古屋鉄道と合併。 この間、紆余曲折があったが、苦節50年余が過ぎ、 やっと陽の目を見た線区である。



昭和61年9月29日「豊田新線」を「豊田線」に路線名改称









さようなら業の銀

昭和48年3月4日廳鏡

お別れ電車・発車式 昭和48年3月3日 大樹寺発15時17分

「蛍の光」が静かに奏でる 駅長の右手が挙がる 真っ白な手袋が青空に吸い込まれる 車掌の手笛が鳴りドアが閉まる ゆっくりと電車が動き出す 一斉にカメラのシャッター音 大きな喊声があがる 手を振る者 拍手する者 涙する者あり あぁ挙母線よ…。













昭和48年3月4日…豊田市駅前で「代替えバス発車式」



在りし日の 華田線 (盛銀週間後の写真も)



三河鉄道は愛知電気鉄道に対抗するため、名古屋~挙母~岡崎間を結ぼうと計画。先ず、昭和2年4月16日岡崎電気軌道と合併した線区「通称・郡部線(井田~門立間)」と結ぶため、昭和4年12月18日、上挙母~三河岩脇間を新設、合わせて郡部線の大樹寺まで1500Vに昇圧。上挙母~井田間を岡崎線とし、挙母・(大樹寺乗換え)・岡崎ルートを確立した。また、三河岩脇~門立間を門立線と改めた。一方、名古屋ルート確立のため新三河鉄道に参画(後の豊田線)した。昭和16年6月1日、名古屋鉄道と合併し、岡崎線は昭和23年5月16日、路線名を挙母線と改称。この挙母線も時代の波に勝てず、昭和48年3月4日廃線となった。

















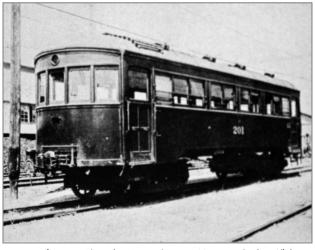




私達4人(稲、小野田、成田、新實)は「廃線2週間後(3月17日)」挙母線を今一度脳裏に焼き付けておこうと大樹寺に向かう。上挙母まで11kmをめざしホームに降りた瞬間愕然とした。見渡す限り廃墟と化した挙母線が…。

心に怒涛の如く押し寄せる悲哀。言葉ではとても表現できない。つい叫びたくなる"返してくれ俺たちの挙母線を"と、それを必死に堪える自分との闘い…。 — かきつばた(1973)より抜粋 —





デ 200 形 大正 13 年 10 月 日本車両製

200 形は 大正 3 年 10 月 日本車両製 定員 70(42)

岡崎電気軌道の郡部線(井田~門立間) 開業のとき新造した車両。

三河鉄道と合併(昭和2年4月16日)後、 同線の昇圧(600V→1500V) により附随 車サ2110形に改造された。



















岩津駅舎も解体され構内跡は、撤去したレールや枕木の山…昭和48年3月17日









上挙母~大樹寺間が開通すると三河岩脇~門立間は門立線となるが岡崎線(挙母線)の盲腸線となり、昭和13年5月1日、休止し、翌年の昭和14年10月3日、門立線は廃止された。

※ 付図2 三河鉄道の路線…144頁参照



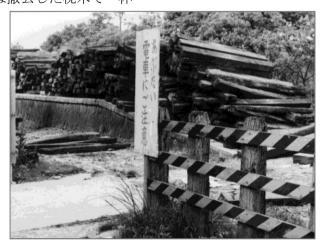






ホーム上やホーム下は撤去した枕木で一杯









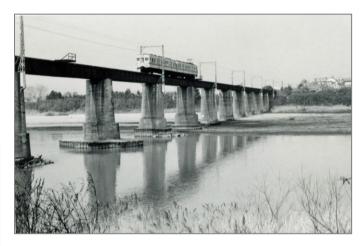
細川駅は開業時、門立線に「細川駅」があったため「上市場駅」で開業。門立線が廃止された 10 年後の昭和 24 年 12 月 1 日「細川駅」に駅名改称した。

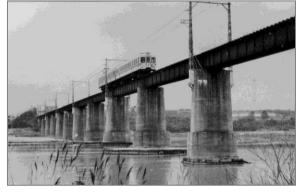


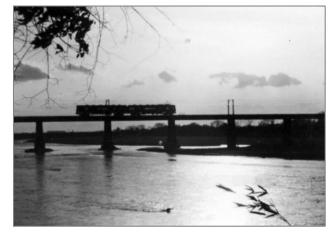








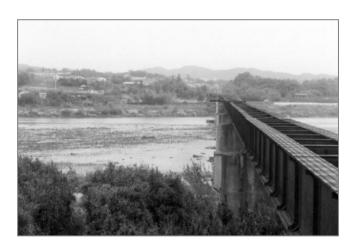


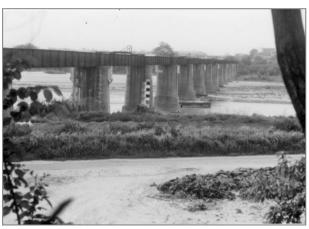






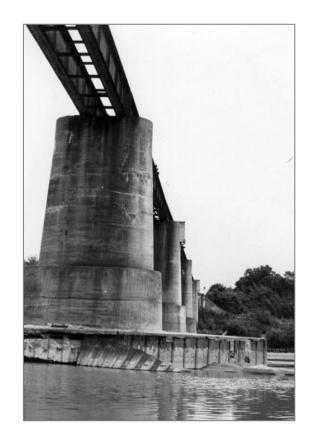




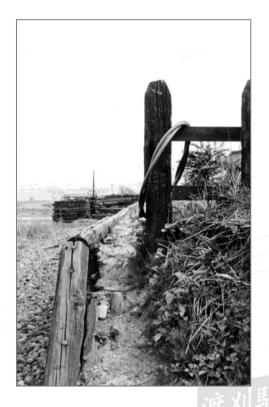


右&下の矢作川橋脚は昭和 47 年 7 月の三河山間部 の集中豪雨で痛手を受けた爪痕である。このため、挙 母線は廃線まで、矢作川橋梁は 15km/h の制限を受け 運転していた。





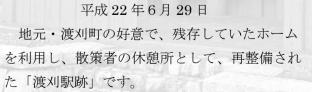






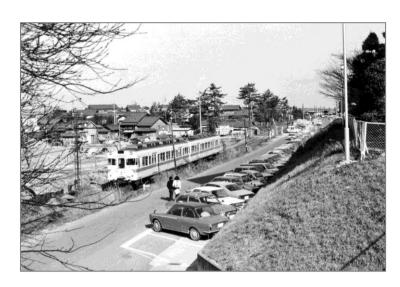






ホーム下の線路跡は、カラー煉瓦で、レール と枕木の模様をあしらい、粋な計らいが…。









岡多線(現・愛知環状鉄道線=通称・愛環)の建設現場…渡刈~トヨダ自動車前間







豊田(トヨタ)自動車は論地ケ原に自動車工場を 建設しようとしたとき、鴛鴨駅(昭和21年頃廃止) から引込線を工場まで敷設しようと考えていた が、三河鉄道の計らいで工場操業(13年11月)前 の昭和12年12月27日 三河豊田駅開業。昭和 34年10月1日、トヨタ自動車前に駅名改称。

















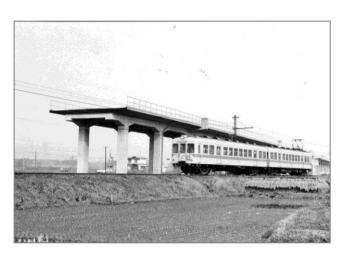




トヨタ工場への引込み線















昔・三河線



 \odot



昭和 23 年 5 月 16 日、路線名変更があり、三河線の"蒲郡 ~三河吉田"が蒲郡線に、"三河吉田~西中金"が三河線に 分割変更された。

满都

昭和11年11月10日開業



昭和30年代



昭和47年4月1日、蒲郡〜 塩見橋下間高架化。同12月 6日駅ビル開業。



昭和61年頃



連続立体工事中は JR の 5 ・ 6 番線を借用 (平成 10 年 10 月 31 日~12 年 11 月 10 日)



現·名鉄蒲郡駅…平成 22 年 12 月 15 日 (平成 12 年 11 月 11 日新駅舎完成)



蒲郡競艇場前

昭和43年10月1日開業(拾石と塩津が統合して誕生)



平成 12 年 11 月 11 日 塩見橋~蒲郡競艇場間高架化。(工事のため、JR 下り線を使用)



昭和 43 年 10 月 1 日開業 昭和 63 年 9 月 17 日… 蒲郡競艇場前駅、吉良吉田方に 0.1km 移設

昭和11年11月10日開業 昭和43年10月1日廃止



深溝断層により(三河地震…S13.1.13) 三河鹿島 拾石間で線路盛土が崩壊…という記録あり。 場所…三河鹿島~旧拾石間

三河鹿島

昭和11年7月24日開業





昭和62年8月 焼失

形原



昭和11年7月24日開業



三ヶ根山ロープウェー 昭和63年9月1日 新駅舎完成

※ 三ヶ根山ロープウェー…昭和 32 年 11 月 21 日開通 昭和 51 年 11 月 6 日廃止





在りし日の西浦駅

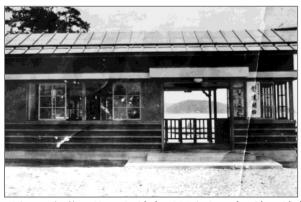
西浦

昭和11年7月24日開業



※ 昭和11年11月10日、蒲郡まで開通。三河鳥羽~蒲郡間は 当時全国的に流行していたガソリンカーと一部蒸気機関車を 使用。この間を担当した乗務員は西浦に刈谷乗務区の分室が あった。また、西浦には山側に車庫(工場)も…。





こどもの国



洲崎駅として、昭和 11 年 7 月 24 日 開業し 19 年休止。 27 年 10 月 1 日、0.4km 東幡 豆方に移設し復活。

昭和 49 年 10 月 10 日 旧位置に移設。昭和 51 年 10 月 10 日、こどもの国駅に駅名改称



東幡豆

昭和11年7月24日開業



昭和30年代、駅から前島が見えた。(手前の前島を「うさぎ島」沖の沖島を「猿が島」という愛称名で呼んでいた…平成9年11月30日閉園)

沖島にニホンザルを放し飼い…昭和32年5月18日、前島にうさぎを放し飼い…昭和33年9月21日

西幡豆

昭和11年7月24日開業



平成 25 年 12 月 21 日



平成 25 年 10 月 30 日

三河鳥羽

昭和4年8月11日開業



昭和34年



昭和30年



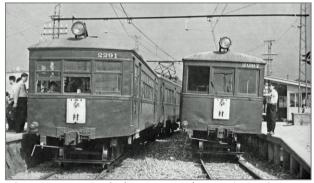
昭和4年8月11日開業 同19年休止

昭和 45 年 10 月 5 日廃止



三河鳥羽7号踏切の海側に駅が…。

吉良吉田



ガソリンカーを改造したTc車…昭和29年7月





西尾線トランパス導入で、蒲郡線との直通運転 廃止…平成 20 年 6 月 29 日



旧・三河線着発線ホームは、平成20年6月29日 のダイヤ改正で蒲郡線の着発線ホームとなる。



名称列車復活運転…平成20年8月9日

ありがとう・パノラマカー三河湾DAY …平成 21 年8月8日



ミュースカイ 2 0 0 0 系西尾線に入線 DVD持参 者はカラー写真が…平成 16 年 7 月 6 日

